

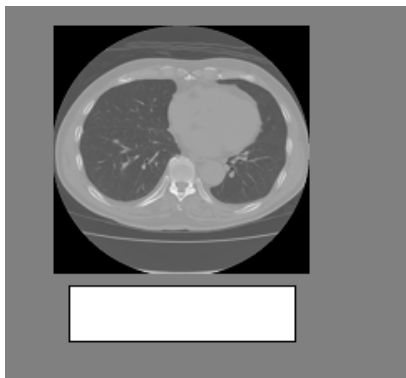
平成18年度卒業論文

題目: 電子カルテ作成用アプリケーションの開発

氏名: 中西 悠吾

本研究では、DICOM 画像データから画像を表示させる機能、さらには、医師の診断の際の負担を軽減するため、医用画像をシネモードで表示できるビュー機能、医師による診断結果や所見を記入できるレポート機能など、様々な機能を充実させることを目的とする。それにより、容易にデータを管理・保存することが可能で、近年問題となっているカルテの開示の際、患者に素早く開示し、明確に説明できる機能を有するシステムを構築する。

また、システムの中に診断の際に用いることができる有用な技術として、異常部位を見つけるための画像処理技術を組み込むことや、その異常部位と診られる箇所の大さを測る機能など、電子カルテの機能の中に画像診断の技術を有するシステムを構築する。これにより、利便性の高い電子カルテシステムが作成でき、本システムの普及により、規格の標準となりうるシステムの提案を行う。その結果、統合的なシステムの運用により、医療機関の間でのデータのやり取りを容易にすることができる。



← 医用画像の表示

← 所見, 診断結果

実験結果